2019年3月5日
日刊建設工業新聞

高

塩江道の駅エリア再整備

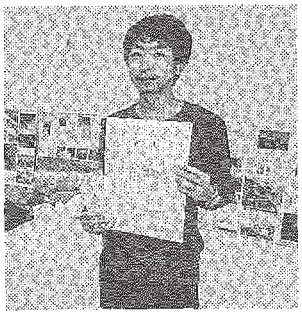
高松市は4日、「高松市塩江道の駅エリア基本計画策定業務」の委託先を選定する公募型プロポーザルを公告した。参加表明書を22日まで、提案書を4月15日まで受け付ける。5月10日にプレゼンテーションなどを実施し、同中旬に優先交渉権者を決定する。

参加資格は、市内企業または市内に支店等を有する準市内企業。

業務内容は、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、塩江道の駅エリアの再整備を行うための指針となる基本計画の策定。同エリアに整備予定の建物は、医療施設（病床数ゼロの診療所）、道の駅施設、温浴施設、観光案内所、飲食・物販施設。事業対象エリアは塩江町安原上東。業務の履行期間は約9カ月間。業務契約金額は1500万円（税込み）を上限とする。

JIA四国ら総合資格が特別協賛 学生卒業設計展

コンクール金賞に来次萌生さん



金賞受賞の来次さん

日本建築家協会（JIA）四国支部と四国建築学生の会共催、総合資格学院特別協賛による「四国建築学生卒業設計展2019」がこのほど、高知市文化プラザかるぽーとで開かれた。

卒業設計展には、高知工科大学、河原・デザインアート専門学校、高知工業高等学校の卒業生が24作品を出品。模型や説明パネルの展示を行うとともに、同作品を対象に「JIA四国支部学生卒業設計コンクール2019」が行われた。

コンクールでは、1次審査を通過した7人がプロジェクターを使って取り組みの動機、作品のコンセプトや詳細をプレゼンテーションした。畑友洋氏（建築家、神戸芸術工科大学准教授）らが審査に当たった結果、金賞に来次萌生さん（高知工科大学システム工学群）の「峠駅」、銀賞に前原凌平さん（同）の「播州の群塔」、銅賞に小川善弘さん（同）の「オモテとウチ、チとソラが響き合う住み続けたい場所」がそれぞれ選ばれた。

金賞の来次さんは、JIA全国大会に出場する。作品はJR奥羽本線の標高624㍍にある秘境駅「峠駅」を題材にし、利用者が下車したくなるような魅力ある空間を提示している。

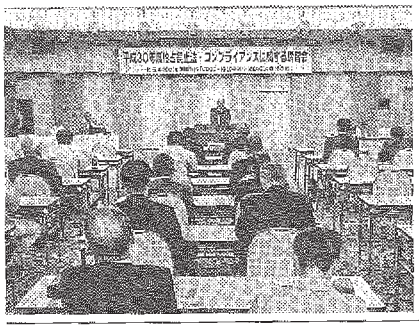
合開発工事事務所は、2月15日に一般競争入札を開札した「平成30―31年度横瀬川ダム管理用発電設備設置工事」の落札者を1億6350万円で栗原工業に決定した。

工事概要は管理用発電設備（支給品）据え付け・試験調整。工事場所は高知県宿毛市山奈町山田。工期は8月30日まで。

参加資格は舗装工事等級Aの単体企業か等級AとBで構成された2者JV。単体とJV代表者は2003年度以降に元請として供用中の2車線以上の道路で交

独禁法やコンプライアンスの知識深める

埋浚協四国らが講習会



日本埋立浚渫協会（埋浚協）四国支部と四国港湾空港建設協会連合会は2月27日、高松市内のホテルで独占禁止法・コンプライアンス（法令順守）に関する講習会を開いた＝写真。

冒頭、埋浚協の福田功専務理事が「この講習会は協会の重要な行事として1991年から約30年継続して実施している。3年前からは技術者の倫理教育の観点でコンプライアンスの講習の充実を図っている」とあいさつした。

講習は、公正取引協会の渡辺健一事務局長が「独占禁止法と入札談合について」と題して私的独占の禁止など独占禁止法規制3本柱や調整行為について解説。柴山知也早稲田大学教授が「技術者倫理の実践と不祥事の防止について」と題して技術者の社会的役割の変化や最近の不祥事の事例などを示し、防止のための教育について説明した。

㍍、路面標示工約10万500㍍。使用する主要な資機材はアスファルト合材約2万㌧。工事場所は高松・松山・徳島・高知自動車道。工期は600日間。

有などの選定結果を公表する。

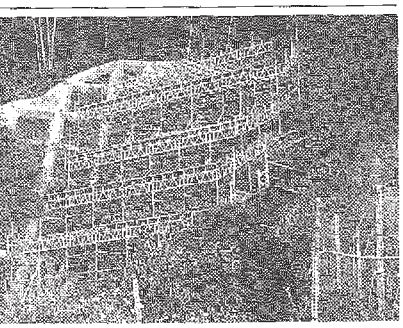
参加資格は大分県か福岡県内に本店、支店などがあり電気通信工事の総合評定値が1300点以上。国か地方自治体が発注した1件当たりの契約額5億円以上の60㍍帯デジタル防災行政無線（同報系）整備工事

組み立てデモンストレーションなど実施

那覇鋼材と日綜産業のり面構台足場勉強会

事業場所は市内一円。応募価格要件の上限額は14億8900万円（税込み）。

那覇鋼材（沖縄県豊見城市）と日綜産業はこのほど、



を行った。

マルチアングル工法はのり面のアンカー工事やボーリング工事での機械構台や乗り入れ構台用として使用するユニット足場。従来は単管とクランプ、番線を用いた足場で対応しているが、固定部材がシステム化された同工法の活用により安全性や施工性の向上、作

度比1・8％減）、特別会計344億65百万円（0・7％減）、企業会計76億58百万円（5・4％減）。一般会計のうち普通建設事業費は47億63百万円（10・7％減）。

主な事業は次の通り。

▽八代・天草架橋建設促進＝52万円。期成会への補助▽コミュニティーセンター施設整備＝2億93百万円

文化財建造物保存修理＝1億73百万円。万田坑施設▽防災情報伝達システム設備整備＝2億24百万円▽南新地土地区画整理事業特別会計＝8億41百万円。

●熊本県玉名市の2019年度一般会計当初予算案は342億8百万円（前年度比6・3％増）、このうち投資的経費は69億32百万円（8・8％増）。